

平成22年度第5回岐阜県事業評価監視委員会

【治山課所管 事後評価審議資料】

○水源森林総合整備事業（琴ヶ沢地区）

- ・事後評価実施箇所一覧表
- ・事後評価箇所表
- ・説明資料（パワーポイント）

平成22年度 事後評価実施箇所一覧表

番号	担当課名	県事業		事業採択年度	完了年度	全体事業費 (百万円)		事業名	路線名(地区名)	施工場所
		補助	県単			上段:当初	下段:最終			
3	治山課	○		H6	H16	2,813	2,379	水源森林総合整備事業	葦ヶ沢地区	恵那市

平成 2 2 年度事後評価箇所表

担当課〔治山課〕

番 号		事 業 名 (路線名等)	水源森林総合整備事業 琴ヶ沢 (ことがさわ)
実施箇所	恵那市上矢作町琴ヶ沢	全体事業費	(当初) 2,813 百万円 (最終) 2,379 百万円
採択年度	平成 6 年度	完了年度	平成 16 年度
事業目的	<p>当施行地は、恵那市上矢作町の北部に位置し飯田洞川の上流部にあり、上矢作町地域の重要な水源地となっている。</p> <p>しかし、当地域は花崗岩が深層風化した砂状風化物（通称マサ土）が表層地質となっており脆弱な地盤のため、豪雨時には山腹崩壊が発生しやすく、豪雨の度に土砂が流出していた。</p> <p>このため、土砂流出の防止、水源かん養機能の向上を目的とし、溪間工、山腹工、荒廃森林の整備を実施した。</p>		
事業概要	<p>溪間工：53 基（谷止工(コ) 49 基、床固工(コ) 4 基）</p> <p>山腹工：5.4ha（土留工(コ) 15 基、土留工(7') 96 基、土留工(丸太) 6 基）</p> <p>森林整備：750.3ha（本数調整伐 503.4ha、枝落とし 246.9ha）</p> <p>保安林管理道：開設 W=4.0 m、L=2,203 m</p>		
概要図			

評価結果

①住民参加・協働による効果

計画時および実施時において、地域住民等からの意見要望等を吸収しつつ、事業を推進した。

②事業効果

当事業の実施により、溪床勾配の緩和、崩壊地が復旧され土砂流出が抑止されている。また、荒廃森林で森林整備を実施したことにより、水源かん養機能の向上が図られた。

③環境面への配慮

矢作川水系濁水対策連絡調整会議へ工事内容や濁水対策状況、事業実施後の改善点等を報告し、P D C Aサイクルによる河川環境への影響を最小限に抑える活動を行うとともに、工事現場では濁水発生を抑制する対策を実施。

④事業を巡る社会情勢の変化

本事業での森林整備がモデルとなり、周辺地域でも荒廃した森林の間伐が促進されるようになった。

⑤利用者・地域住民等への効果

地元住民にアンケート調査した結果、事業の実施により約7割の方が土砂の流出が「少なくなった又はやや少なくなった」とし、川の水量も安定してきていると感じており、事業全体の総合的な満足度においても約7割の方が「満足、やや満足」と回答していることから、本事業に対しておおむね理解と満足を得ている。

⑥対応方針

【今後の事後評価の必要性】

荒廃溪流の安定化、崩壊地の復旧により土砂の流出が減少していること、水資源の安定的な確保に貢献していること、また、当事業に対する地域住民の満足度が高いことから、事業目的を十分に果たしていると判断できるため、今後の事業評価は必要としない。

【改善措置の必要性】

事業効果が現れており、改善措置の必要性はない

【新規事業への適用すべき留意点】

地域住民の意見をくみ取り、きめ細やかな対応に努めていく。

水源森林総合整備事業 琴ヶ沢地区の事後評価

恵那市上矢作町琴ヶ沢地内

岐阜県林政部 治山課

水源森林総合整備事業とは

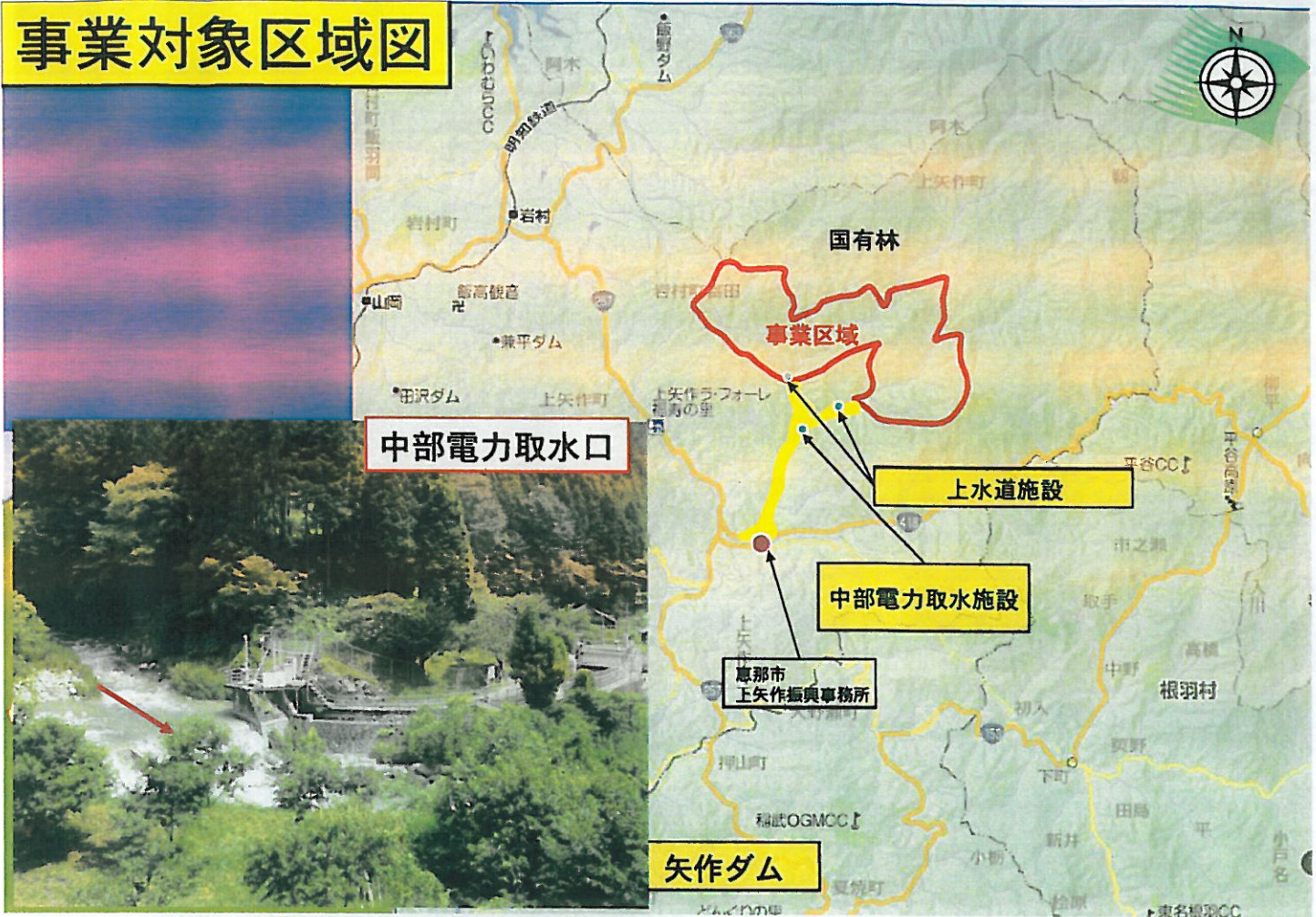
水源かん養機能等が低下している森林



整備され機能の高い森林

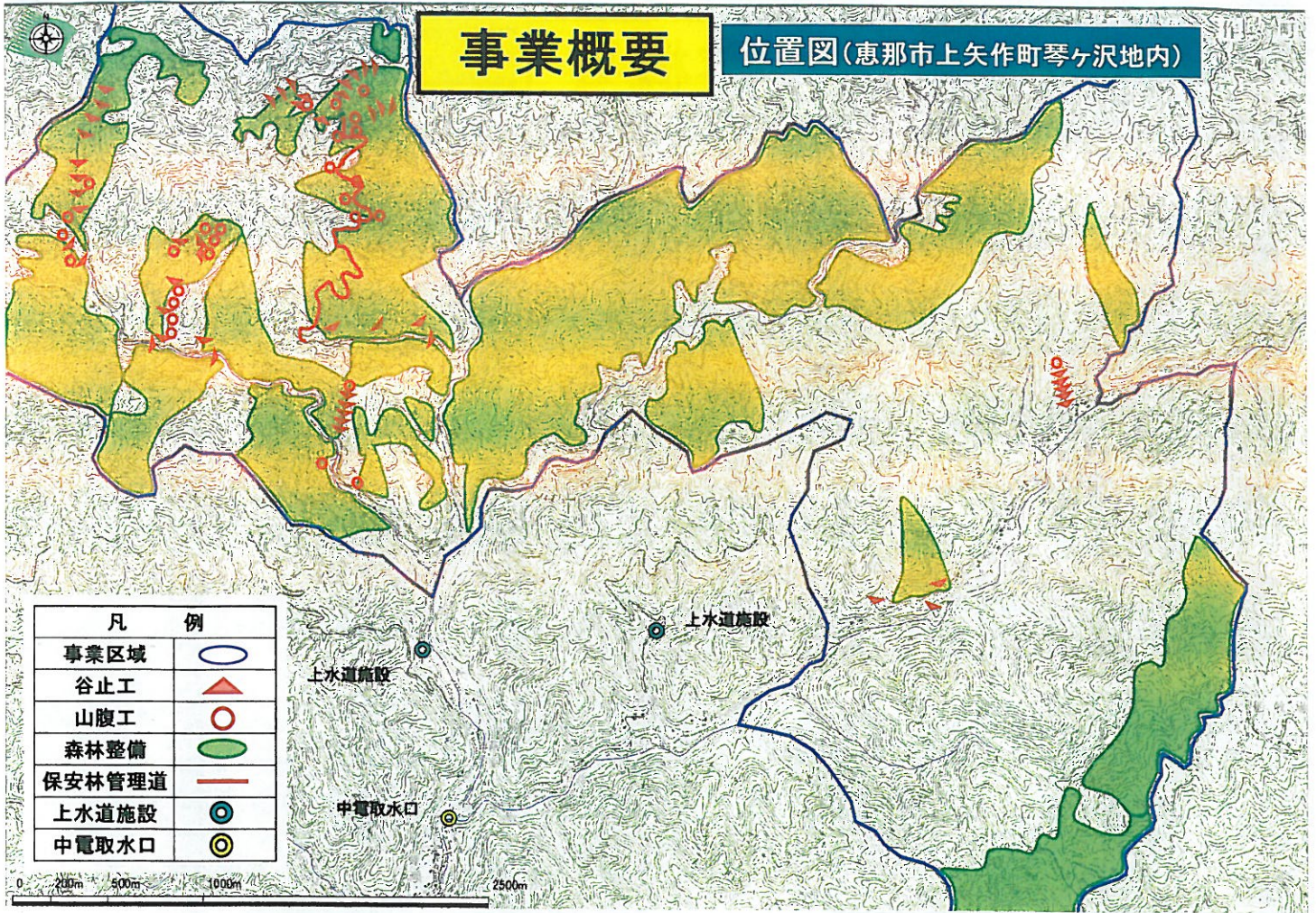


事業対象区域図



事業概要

- 事業期間 : 平成6年度～平成16年度
- 総事業費 : (当初) 28億13百万円
(最終) 23億79百万円
- 整備対象区域面積 : 1,524 ha
- 主要工事 : 谷止工49基 床固工4基
山腹土留工117基
山腹植生工5.4ha
森林整備(延べ) 750ha
保安林管理道2,203m



事業概要

(2) 荒廃溪流の復旧

整備前



上水道施設

中電取水口

0 200m 500m 1000m 2500m

整備後



事業概要

(3) 荒廃森林の下層植生の回復

整備前



中電取水口

0 200m 500m 1000m 2500m

整備後



1 住民参加・協働による効果

・ 計画段階



・ 事業実施中



円滑な事業実施ができた

2 事業の効果

(1) 土砂流出量の軽減



森林への復旧

→ 復旧面積: 5.4ha

土砂流出の軽減

→ 軽減土砂量: 1,183m³/年

10tダンプ 約215台分

2 事業の効果

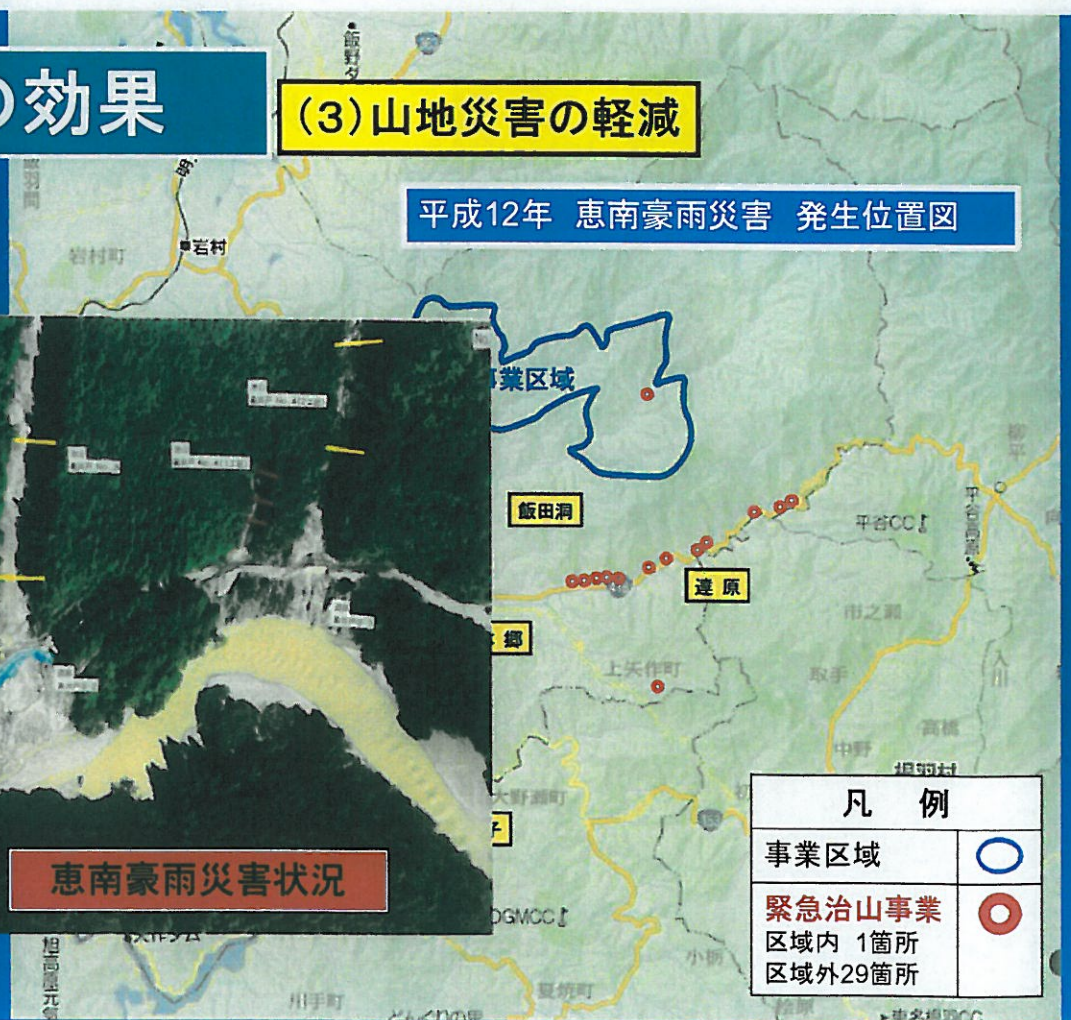
(2) 水資源の安定確保



2 事業の効果

(3) 山地災害の軽減

平成12年 恵南豪雨災害 発生位置図



2 事業の効果

(4) 費用対効果分析

○ 山地災害防止便益	85.7%
○ 洪水防止便益	9.8%
○ 水質浄化便益	2.7%
○ 流域貯水便益	1.8%

効果額

————— = 4.1

事業費

3 環境面への配慮

河川環境への配慮

矢作川水系濁水対策連絡調整会議

事業計画

事業説明

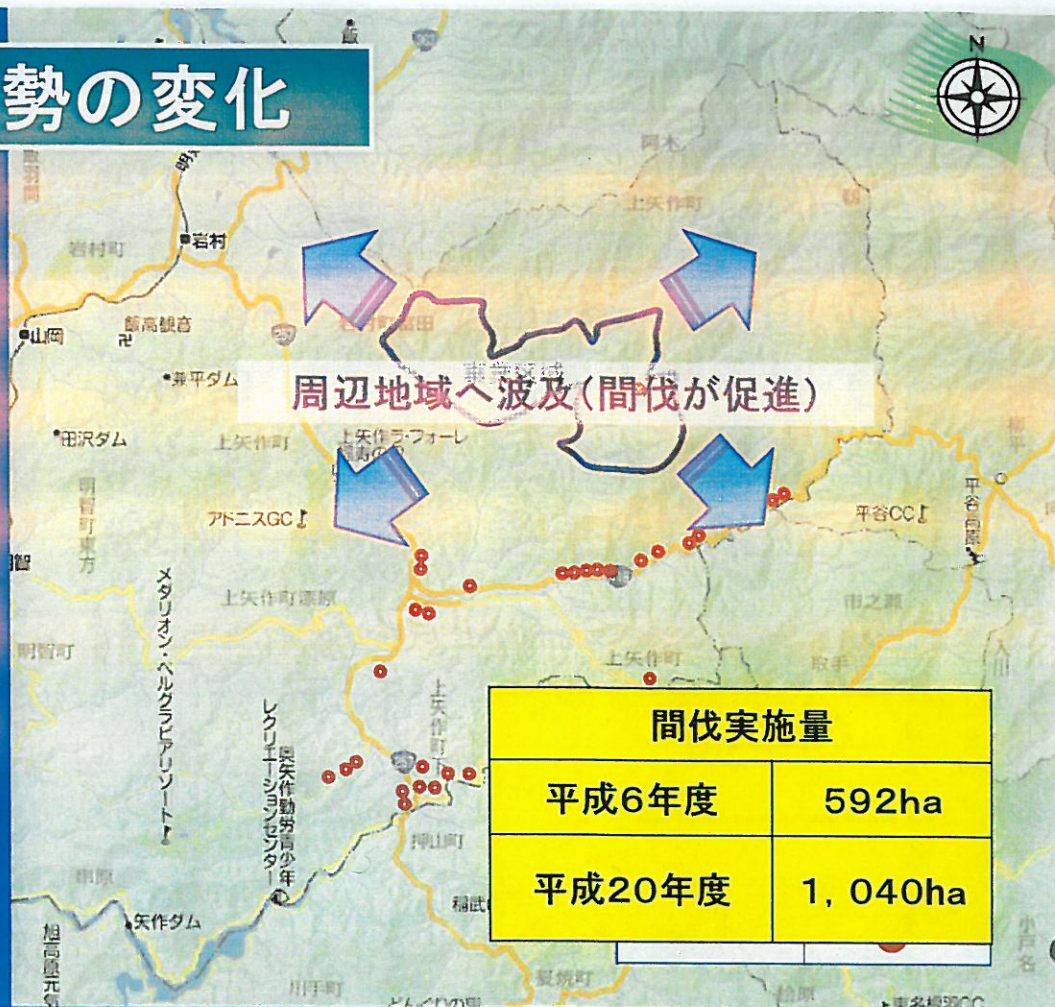
改善

河川環境への影響を最小限に
抑える努力

本事業以外でも連絡調整が行われ、河川環境への影響を最小限に抑える努力が現在でも継続中



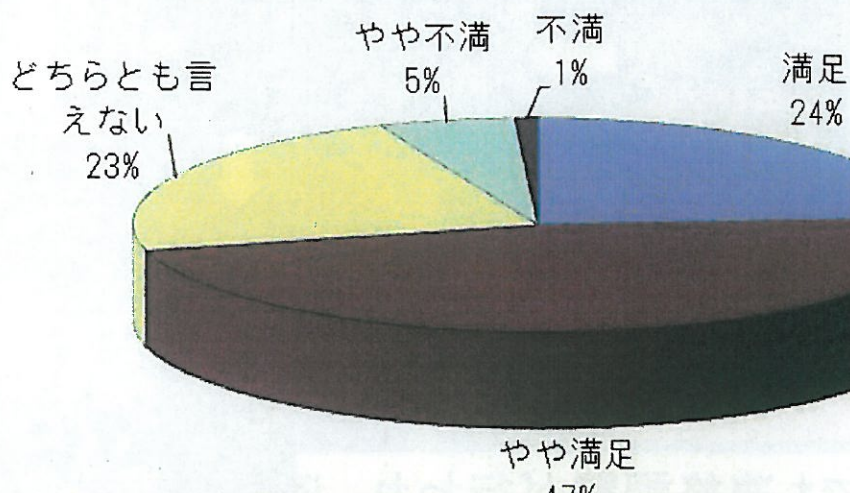
4 社会情勢の変化



5 地域住民等への効果

アンケート: 受益2集落 269世帯配布 127世帯回収 回収率5割

事業の総合的な満足度は



71%が「満足」又は「やや満足」と回答

対応方針(案)

今後の事後評価、改善措置の必要性

事業による効果が現れている

- ・ 荒廃した溪流の安定が図られた。
- ・ 荒廃地の復旧が進み、土砂の流出が減少。
- ・ 水資源の安定的な確保に貢献。

地域住民の満足度が高い

以上のことから、今後の事後評価、改善措置の必要性はない

新規事業への適用すべき留意点

地域住民の意見をくみ取り、きめこまやかな対応に努める

